



## 大学の求める教員像および教員組織の編成方針

高崎健康福祉大学は、「自利利他」すなわち、他人の喜びや幸せを自らの喜びや幸せと感じて研鑽に努めるという建学の精神（健大スピリット）を基礎として「人々の健康と福祉および社会の発展に貢献する」という大学の理念を立て、それを達成するために医療、薬学、栄養、農から社会福祉、教育分野まで5学部8学科を置く、健康福祉系の総合大学である。入学者は、少子高齢化が進む中で、健康栄養系の専門職業人として Well-being 社会を支える人材として活躍するという明確な目的意識をもって入学してくる。したがって教員は、建学の精神と大学の理念、教育方針の下に、技術的専門知識のみならず総合的な人間形成を図るため学生の能動的な学びを支援し、幅広い視野を持った専門職業人として学生を導き巣立たせることが第一義的な義務である。そのため、「高崎健康福祉大学の求める教員像」を定め、その教員集団によって社会に求められる組織を形成するための「高崎健康福祉大学の教員組織の編成方針」、教員資質を含む組織全体の改善を図るための「高崎健康福祉大学の教員資質向上・教員組織評価の方針」を定める。

### 1. 高崎健康福祉大学の求める教員像

「建学の精神」と「大学の理念」に則って有為な専門職業人を育成し、さらに幅広く社会に貢献する教育・研究を行うため、全ての教員に以下の教員像をより高いレベルで達成する不断の努力を求める。

- 1) 建学の精神と大学の理念を理解し、その心を学生に育むように努める姿勢。
- 2) 学生の人格を尊重し、学生の思いを理解し、その信頼に応える姿勢。
- 3) 学生の学修意欲を喚起し、学生の目的達成に向けて学生に寄り添い、苦楽をともにすることができる姿勢。
- 4) 学生の評価・批判に真摯に応答し、成績評価など学生指導全般において平等かつ公正に努める態度。
- 5) 自己の専門分野と関連領域における学術上の最新の知識と技能を常に探求し、それを学生に理解できる方法で伝達する教育力。



- 6) 自己の専門分野と関連領域における研究の進展に努め、あらたな成果を業績として社会に示し、還元することができる高度な専門性と研究力。
- 7) 本学の発展・成長のために、大学運営に主体的に関わることのできる意思と能力。
- 8) 教育・研究の成果の普及を通して社会の発展に寄与する活動力。
- 9) 自身の能力を高めるために、あらゆる機会をとらえて自らの研鑽に努める意欲。

## 2. 高崎健康福祉大学の教員組織の編成方針

大学および各学部・研究科の教育目標と教育の質保証の達成に向けた責任ある教育・研究を行うため、以下の方針に則り持続的な体制を整備する。

- 1) 大学設置基準等の関係法令を満たす専任教員の配置を基盤としたうえで、教育研究上の専門分野等のバランスや教育特性を考慮しながら、各学部・学科および研究科・専攻等の教育研究上の目的を実現するために必要な教員を配置する。
- 2) 教員 1 人あたりの学生数、教員の年齢構成、教員の男女比率、外国人教員の比率、実務家教員の配置等に配慮し、バランスのとれた教員配置と適切な教員組織を編制する。
- 3) 教員は各学部にも所属し、学部の教育に関する権限と責任は学部にも、教員の教育研究に関する権限と責任は教員個人に帰属する。
- 4) 教育課程や大学運営等において、教員の適切な役割分担の下で、組織的な連携体制を確保する。
- 5) 教員の募集・採用・昇格等にあたっては、教員選考規程及び諸規則に従い所定の手続きに則った透明かつ公正で適切な人事を行う。

### 3. 高崎健康福祉大学の教員資質向上・教員組織評価の方針

教育の質を確保し向上させるため、教員の資質向上と教員組織の適切性を確認しその改善に努めるため本方針を定める。

- 1) 質の高い教育と優れた研究成果、その成果の効果的な社会発信を生むため、ファカルティ・ディベロップメント（FD）について組織的かつ継続的に取り組み、教員が持つ教育者・研究者・組織人としての資質向上を図る。
- 2) 教員個人が毎年作成する自己評価申告書の評価や報奨制度により教育・研究・社会貢献の活性化を図る。
- 3) 大学全体の自己点検・評価を定期的実施し、教員組織の適切性について検証・評価し改善に努める。